

目標達成計画

作成日: 平成 23年 3月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・日々の生活を繰り返す中で、入居者ひとりひとりの行動による意志の表出や訴えをゆったりとした気持ちで足を止め、目の高さを同じにして向き合う姿勢が乏しくなっている。	・原点に立ち戻り「傾聴する」姿勢を考え直し、ひとりひとりの利用者様の心の動きを大切にし、足を止め寄り添う。	・寄り添う介護は基本的な姿勢と思いつつも、繰り返す日々の生活の中、通り過ぎてしまう場面もあったので、足を止め、傾聴する心を全員で育てる	12ヶ月
2		・ご家族やご本人からの情報からこれまで好んでやってきた事や得意としてきた事を生活の中に取り込んできたが、長続きせず興味が薄れたようで、現在マンネリ化した生活になっている。	・一日の生活リズムの中で、心が元気になる時間を持つことが出来たり、その時間を楽しみに感じてもらえる様な一日の計画を行う。	・おひとりおひとりのこれまでの生活歴から、ひもとき、楽しいと思えること、心が元気になること、又、心が落ち着くことを見出し、生活の中に取り込み状況観察しつつ本質に近づく様、検討していく。	12ヶ月
3		・入居以来、ご家族様の面会の回数が減り、ご家族様のお名前、お顔も定かでなくなる傾向になってきているので何とかしたいという課題になっている。	・ご家族が利用者様との交流する機会を多く持つことが出来る様工夫し、職員とご家族協働型で利用者様を支える。	・ご家族様と協働で支えることは、当然なことではあるが、遠隔地だと難しくもある。そんな中で利用者様とご家族様がお互いの心のふれあい出来る工夫を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。